

◆ごあいさつ

学修・教育開発センター所長 井上俊哉

この原稿を書いている3月12日、Googleのロゴは「World Wide Web30周年」でした。Webが生まれた1989年（平成元年！）は、バブル景気のまっただなか、消費税が施行された年、天安門事件やベルリンの壁崩壊の年です。この30年、世界も日本もそして大学も大きな変化の中にあります。現在の大学で当たり前になっているシラバス、オフィスアワー、GPA、授業評価などは、ほぼ30年前、1991年の答申「大学教育の改善について」を契機に、（勉強したがる学生を学習に動機づける「小道具」として）導入されたと言われています。FDの必要性も、この答申ではじめて指摘されました。1990年から1995年の間に大学進学率が急上昇し、2000年代に入り大学改革の時代が始まります。この流れは今も続いていて、大学は恒常的・継続的に変わり続けること、そのための組織整備（内部質保証システム）が求められています。学修・教育開発センター（CRED）は、大学改革に対応するために、遅ればせながら2014年（平成26年）に設立され、今年度で6年目になります。進学率が50%を超えたこの時代において大学の教育はどうあるべきか、東京家政大学における学生の成長とは、主体的な学びとはいったい何なのか、教職員のみならず、学生たちとともに考え続け、行動して参ります。今年度に計画している主な取り組みを紹介します。

【自校教育科目スタートアップセミナー自主自律の運営】

学科を超えた学生どうしの協同学習によって、自主自律の礎を築きます。学科を超えた教員どうしの協同、スチューデントアシスタントの配置も新しいチャレンジです。

【IR情報の活用を通じた教育活動等の点検・評価】

学部・学科・科と協同して、エビデンスにもとづいて教育活動等を点検・評価し、新しい年度に向けて改善を図ります。

【新しいアセスメントテストの実施と活用】

学部・学科・科、キャリア支援課・学務課等と協同して、本学学生の学習成果を把握・評価し、教育活動の改善に活かします。

【学生の主体的活動】

自主自律の精神を涵養するために大学は何ができるか、学生たちとともに考え行動します。

【教育支援システムmanabaの利用促進】

学生の主体的学びの支援のために、利用開始から3年目になるmanabaのさらなる利用促進を図ります。

【FD・SD研修の企画・運営】

大学の置かれた状況や本学の教育の目的などについて教職員間で認識を共有し、課題を定め組織的に取り組むための研修を企画し運営します。

◆平成31年度CREDメンバー

所長

井上 俊哉（心理カウンセリング学科）

副所長

平山 祐一郎（児童学科）

参事

大西 淳之（栄養学科）

佐藤 隆弘（児童学科）

並木 有希（英語コミュニケーション学科）

走井 洋一（児童教育学科）

宮本 康司（環境教育学科）

《専任職員》

課長

丸山 毅

主任

安積 和広

宮 東城

書記

矢野 穂

《嘱託職員》

山本 優子

《業務補助員》

2名

宜しく願いいたします。

◆スタートアップセミナー自主自律、ついに開講です！

平成28年より検討を重ねてまいりました自校教育科目「スタートアップセミナー自主自律」が、ついにこの春から開講いたします。改めて科目の特徴を下記いたします。

特徴1：板橋キャンパスに通う人文学部・家政学部の新入生全員が学科横断でグループを作り協同して課題に取り組みます。

特徴2：各クラスにチューデント・アシスタント(上級生)を1名配当し、新入生のよき「先輩」として家政大での学びを支えます。

特徴3：この科目を担当いただいた先生方はmanabaや協同学習の技法を学んでいただきます。科目自体がFDにつながるものと認識しています。

最後になりましたが、科目の開講にあたり、ご協力をいただきました各学科・科・推進室・事務部署の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

◆平成31年度教育改革推進事業、採択案件決まる！

今年度教育改革推進(学長裁量費)経費予算による研究・開発の案件が、審査を経て6件採択されました。この経費は、本学の教育をさらに充実・向上させるために、教育方法や教材の研究・開発に対して必要な費用全般を補助するためのものです。個人で申請するタイプAと組織で申請するタイプBがあります。採択案件は、表のとおりです。

タイプA(1件あたり予算50万円以下)

- ◆齋藤昭彦教授「理学療法専門科目における国家試験合格レベルの知識の明確化と自己学習の推進」
- ◆並木有希准教授「学習者中心アプローチに則る講義科目における効果的な双方向学習課題の開発(「アメリカ文学史I, II」の改善)」
- ◆重村泰毅准教授「e-learning導入後の3年間における学習効果の変化・manaba導入後の学生の試験得点変化に関する中期的な分析」

タイプB(1件あたり予算250万円以下)

- ◆心理カウンセリング学科「心理カウンセリング学科における動画を用いた効果的な反転授業の実践的検討」
- ◆児童教育学科「授業実践についてのパフォーマンス評価の妥当性検証とFileMaker Cloudを用いた学生情報共有及び個別的フィードバックシステムの構築」
- ◆グローバル教育センター「全学を対象とした英語運用能力向上を目指す授業内でのe-learningプログラムの開発」

◆アクセス 板橋キャンパス百周年記念館1階奥



FD、IR書籍の貸出もしています♪
お気軽にお越しください！

